

Mahā Vairocana

特集

仏教の祖・ブッダの史跡を巡る

NEW TYPE Religious Awakening File#005

—発心したニュータイプ僧侶—

3回生 福島 太郎さん

KOYASAN UNIV.
高野山大学
<http://www.koyasan-u.ac.jp>

● ヴァイローチャナ

マハーヴァイローチャナ
大日如来(摩訶毘盧遮那如来)

学報 2015 Jul
Vol. 72

Mahā Vairocana

大日如来(摩訶毘盧遮那如来)
マハーヴァイローチャナ

高野山大学 学報 Vol.72

2015年7月1日(1月・7月年2回)発行
発行人和田 友伸 編集企画課

発行所/高野山大学 〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385
TEL. 0736-56-5445 FAX. 0736-56-2746

印刷所/ヨシタ印刷株式会社



高野山大学 OpenCampus

高野山大学 文学部 密教学科/人間学科

“2015年4月「人間学科スタート」”

“2015年9月26日(土)・AO入試を実施(事前エントリー必要)”

2015
7.19 Sun OPEN 10:00~16:20



図書館探索



キャンパス見学



進学相談



体験授業

オリエンテーション・進学相談

- キャンパス見学
- 学部・学科説明
- 学生生活・奨学金・就職

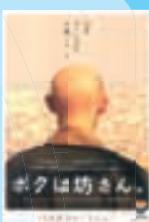
- 入試説明&入試対策講座
- 個別相談【編入・別科・別科スピリチュアルケア・大学院】
【通信制大学院含む】
- AO入試エントリー受付実施

見て、体験して、実感できる! 本当の自分を見つけに来ませんか!

- 体験授業「書道・心理学」
- 在学生と自由に話せる!
- 学食無料ランチ体験



- 図書館開放!
- 映画「ボクは坊さん。」試写会
原作者 白川密成氏 講演
- オリジナルグッズプレゼント!



無料バス運行!! <往復> ※HPから予約

五条駅	10:00	和歌山市駅	09:00
林間田園都市駅	10:25	JR和歌山駅(東口)	09:20
A コース	橋本駅 10:40	B コース	岩出駅 10:00
高野口駅	10:55	粉河駅	10:20
妙寺駅	11:05	笠田駅	10:40
大学	12:05	大学	11:40

お問い合わせ先
高野山大学 企画課

〒648-0280
和歌山県伊都郡高野町大字高野山385

TEL. 0736-56-5445
FAX. 0736-56-2746

URL <http://www.koyasan-u.ac.jp>

詳細はHPをご確認ください!!

帰り 大学 16:20

次回の
OpenCampus
11/1 (Sun)
学園祭(曼荼羅祭)
同時開催

学長就任のごあいさつ

学長 藤田 光寛



この度、学長に再任されて2期目に入りました。この4年間、本学の教職員が一丸となって全員野球で改革・改善に努めてきました。ある程度の成果は上がったものの、目標の「学生数の定員割れ解消」は課題として残っています。大学を取り巻く状況は更に厳しさを増してゆきます。少子高齢化が更に進み、「2018年問題」（2018年から18歳人口が再び減少し始める）が直前に迫っています。このような厳しい時期にこの重責を担うことになりましたので、本学の教職員や同窓生の皆様の叡智をお借りして、本学の建学の精神に基づいて本学の持つ教育・研究・社会貢献の機能を強化し、魅力ある大学づくりに努め、来年創立130周年を迎えるこの歴史と伝統のある高野山大学を維持・発展させてゆくための確かな方向を定めたいと思っています。引き続き皆様の温かいご指導・ご支援をお願いいたします。

副学長就任のごあいさつ

副学長(教務担当) 山脇 雅夫



「こうした研究をしていると、「そんなことをして何の役に立つんですか？」と聞かれことがあります。そんなことは考えたこともあります（中略）。結局は自分が楽しいから、幸せだからやっています。「幸せになれる」というのは十分な理由だと思いつつですが、勝手に聞こえるかもしれません。しかし、自分が幸せになるということは、とても大事なことです。「これをやっているときは幸せ！」というものがひとつでも見つかれば、人生は怖くありません」（本学ホームページ「人間学科ブログ」より）。浜畑先生の文章にあるように、役に立つとか立たないとかいった目先の損得計算を超えた何かが人生にはあります。それをつかむことこそ自己実現だと私は考えます。もちろん損得計算も大切ですが、文学部の学問はそうした人生の深さ、高さを追求するものであります。学問を通して、真理を愛する心と自分で考える勇気を育み、学生一人ひとりの本当の意味での「幸せ」を応援する——それが大学教育の根本です。大学が変革を求めるされる今だからこそ、このことをしっかりと確認したいと思います。

Contents

※表紙 密教学科 2回生

松本 鮎さん

新任のあいさつ

人間学科 准教授 森本 一彦

本年度新設された人間学科に着任しました森本一彦(もりもとかずひこ)です。家族、地域社会、民俗宗教などについて、社会学・民俗学・歴史学による学際的研究を行ってきました。2008年に『高野町史』民俗編にかかわって以来、高野山を中心とする行政・経済・文化が重層する高野文化圏をフィールドとして研究を行っています。当地域の祭礼や慣行についてフィールドワークを実施するとともに、残された古文書の調査を行い、現在と過去を同時に検証することによって、未来につながる知恵を発見したいと考えています。

人間学科は、生きる力を養成することをコンセプトにしていますが、高野山という場の力によってこそ促進されると考えています。高野山は宗教都市であるとともに、多くの職業が存在するコンパクトシティでもあり、周辺集落と連携し合う高野文化圏をフィールドとすることによって、多様な人間関係を学ぶことができるはずです。高野山、および周辺地域全体がキャンパスであると考えて学生と一緒に教室から外へ出ていきたいと思います。きっとさまざまな出会いや発見があるはずです。



人間学科 助教 坂口 太郎

このたび人間学科に助教として着任いたしました坂口太郎(さかぐちたろう)です。これまで、京都造形芸術大学や近畿大学などで非常勤講師として教壇に立つ一方、日本学術振興会特別研究員(PD)として歴史学の研究を進めてまいりました。若輩ですが、伝統ある本学の発展に尽力したいと存じております。

私の専門とする分野は、日本中世史です。とくに、鎌倉時代・南北朝時代の政権力と真言密教との関係に興味があり、後醍醐天皇を中心に研究を進めています。昨年、学位論文を京都大学に提出し、博士(人間・環境学)を授与されました。今後、綿密な修訂を加えて公刊したいと願してあります。

教育面では、書誌学、古文書入門、歴史学I、歴史学II、日本文化特殊講義などの科目を担当いたします。1200年に及ぶ歴史を持つ高野山は、歴史学を学ぶ上でとても魅力的なフィールドです。講義では、歴史学の醍醐味を学生のみなさんに感じてもらえるように、日々工夫を凝らしていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

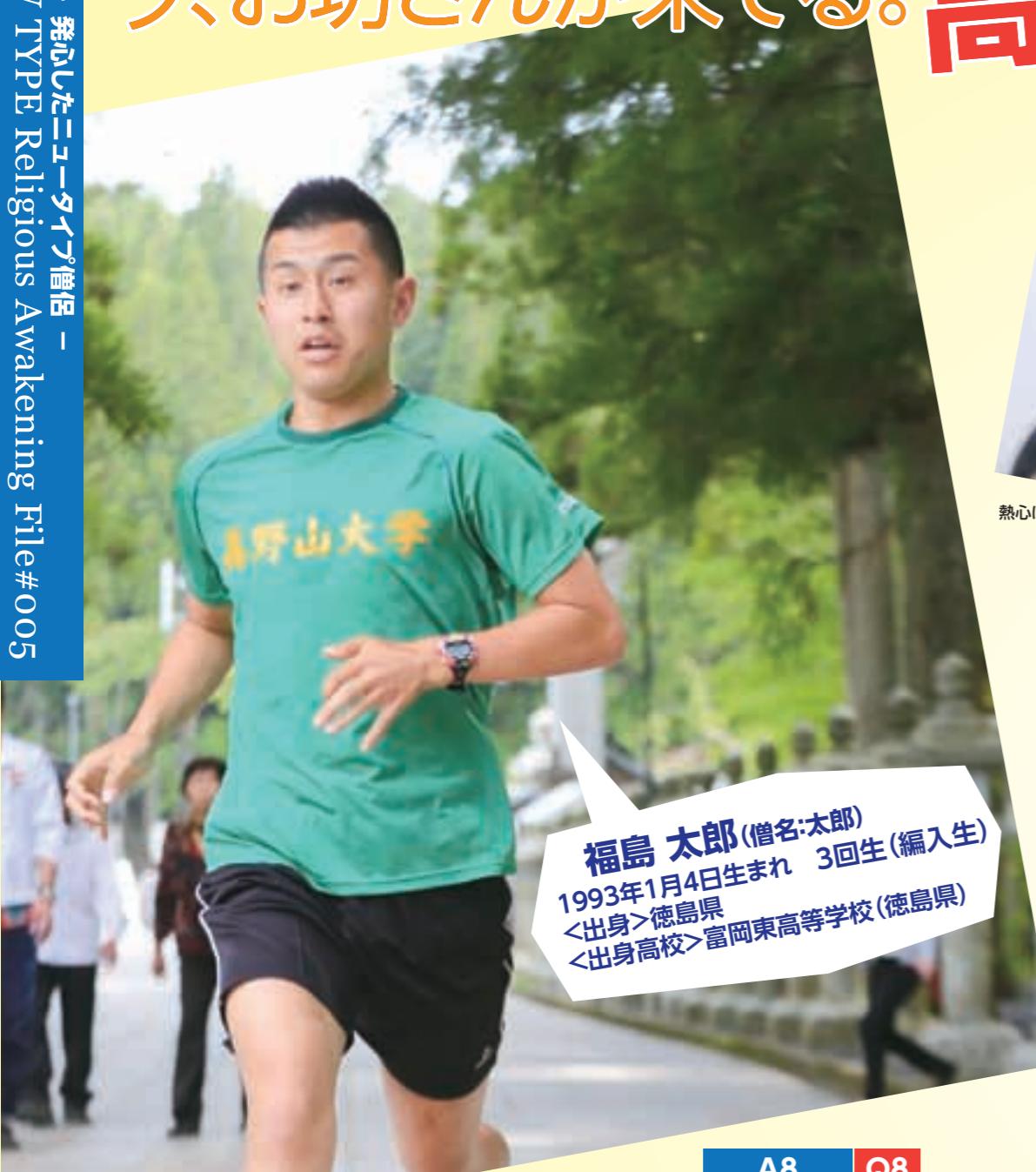


今、お坊さんが来てる。高野山へ

その道に入らんと思ふ心こそ我が身ながらの師匠なりけれ

特集一発心したニュータイプ僧侶—

NEW TYPE Religious Awakening File#005



福島 太郎(僧名:太郎)
1993年1月4日生まれ 3回生(編入生)
<出身>徳島県
<出身高校>富岡東高等学校(徳島県)



熱心に受講中



ゼミの先生と今後について語らう

A3	Q3	高野山大学への進学動機を教えてください。
A2	Q2	高野山大学の印象は?
A1	Q1	また、入学して驚いたことなどあれば、教えてください。
実家が寺で、家業を継ぐというのが一番の目的ですが、しっかりと仏教や密教について学び、「これからさまざまな経験をする中で、勉強した知識を交えながら、自分の考えを伝えることのできる僧侶になりたいと思って進学させて頂きました。		元々大学の教授をしている人たち自体に私は、堅苦しいと いうか面倒くさいイメージがあつたのですが、実際に講義を受けた時、どの先生もアットホームな感じでとても学びやすい 環境だなあと感じました。



徳島県陸上競技選手権 兄弟での並走(2015.5.5)



日本拳法の四国大会で準優勝(小学生時代)



講義の予習と復習



山内のランニング



徳島陸上カーニバルで優勝(2015.4.11)

A8	Q8	高野山で生活するいじょうがなんだと、得たことは?
A7	Q7	高野山で学ぶ魅力はどこですか?
A6	Q6	どんな課外活動をされていますか?
A5	Q5	高野山大学で得たことは?
A4	Q4	興味を持っている授業と、理由を教えてください。

A9	Q9	高野山大学で成長しましたか?
A8	Q8	高野山大学で学ぶ魅力はどこですか?
A7	Q7	高野山で生活するいじょうが、良い意味で無駄がないので、自分について考えることが多いです。
A6	Q6	子供の頃は日本拳法をしておりましたが、高校の時から、陸上の長距離をやらせてもらっています。
A5	Q5	曼荼羅を見てその絵が持つ図像的特徴から曼荼羅を読み解くスキルを養う授業なのですが、これから自分が深く勉強したいことがつまつた授業だと思ったので、受講しています。ただ苦手な漢文も勉強しないといけないようで、少し大変かもしれませんのが頑張りたいです。
A4	Q4	曼荼羅を見てその絵が持つ図像的特徴から曼荼羅を読み解くスキルを養う授業なのですが、これから自分が深く勉強したいことがつまつた授業だと思ったので、受講しています。ただ苦手な漢文も勉強しないといけないようで、少し大変かもしだれませんが頑張りたいです。

A10	Q10	高野山大学で学んだことを、どう生きたいと思われますか?
A9	Q9	高野山大学で成長しましたか?
A8	Q8	高野山大学で成長しましたか?
A7	Q7	高野山大学で成長しましたか?
A6	Q6	高野山で生活するいじょうが、良い意味で無駄がないので、自分について考えることが多いです。
A5	Q5	曼荼羅を見てその絵が持つ図像的特徴から曼荼羅を読み解くスキルを養う授業なのですが、これから自分が深く勉強したいことがつまつた授業だと思ったので、受講しています。ただ苦手な漢文も勉強しないといけないようで、少し大変かもしだれませんが頑張りたいです。
A4	Q4	曼荼羅を見てその絵が持つ図像的特徴から曼荼羅を読み解くスキルを養う授業なのですが、これから自分が深く勉強したいことがつまつた授業だと思ったので、受講しています。ただ苦手な漢文も勉強しないといけないようで、少し大変かもしだれませんが頑張りたいです。



仏教の祖・ブッダの史跡を巡る



2回生 松本 鮎

昨年の12月25日～今年の1月3日の十日間、私は、松長元管長猊下が率いられるインド仏跡巡拝の旅に参加させて頂きました。初めてのインド・ネパール旅行ですので不安もありましたが、今回のツアーから学ぶこと、感じることが沢山ありました。

インドに到着して、まず空港を出て吃驚したのは、空気が日本の様に澄んでいないことです。乾燥のためか砂埃がひどく空港の明かりもぼやけていて、「インドに着いた」と心底思いました。現地の人々の服も肌も髪の毛も砂埃によって薄汚れています。しかし大人も子どもも目だけがきらきらと輝いているのが印象的でした。釈尊の誕生の地ルンビニへ向かう途中、子どもが各自ビニールシートを敷いて集まって勉強する屋根もない「学校のようなもの」があり、その傍を通り過ぎようとすると、子どもが「ボールペン頂戴、チョコレート頂戴」とついてきます。「持ってないよ」と返事をしてもずっとついてくるのですが、その子どものきらきらしている目を見て、裕福であることが必ずしも幸せとは限らないことを改めて認識させられました。他にも、朝早くから子どもが大人に交じて働いていたり、自分たちの住む家を作っていたりと、日本との差を多く感じました。特に、バイク、車、バス、馬車、この四つが車道で入り乱れていて、クラクションが鳴り続けるような混沌とした様は日本では一番見られない光景かもしれません。

仏跡で一番感動したのは祇園精舎です。派手な建物や装飾もない辺鄙なところでしたが、釈尊が常におられた場所に花が置いてある他は何もなかったからこそか、想像が豊かに広がり釈尊がここで悟られたのだと思うと感慨深いものがありました。そして此處でお猿さんが参拝団の方のミカンを盗っていましたこと、アーナンダ菩提樹の下で一生懸命瞑想していた僧侶が、袈裟の中から取り出したスマホで私たちを撮ったこと、この2つは非常に衝撃的で、何処の国でも人や動物がすることは一緒だなとしみじみ思いました。

総じてインドという国は、綺麗なものと汚いものの、この対極的な2つのものが目に見える形で混ざり合っている国だという印象を受けました。もし仮に此處で生きていくとしたら強いメンタルが必要だとは思いますが、私は、飾り立てないインドの姿をどちらかといえば気に入っています。非常に良い勉強となりました。機会があればもう一度行ってみたいと思います。

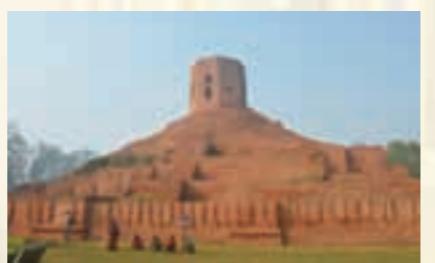


2回生 島田 凌弘

仏教始まりの地、インド・ネパールが私の初めての海外旅行になりました。昨年(2014年)冬に高野山大学名誉教授の松長有慶先生他32名と共に、ブッダゆかりの聖地を巡りました。

インドは言わずもがな仏教発祥の地であり、ネパールは釈尊生誕の地ルンビニがあります。私たちは四大聖地なども巡りましたが、それはどこも素晴らしいものでした。特にナーランダ大学(ナーランダ僧院)は仏教の都にふさわしい大学でした。私が通っている高野山大学も日本最古の綜藝種智の精神を基にした大学です。これら「最古」の2校に触れることで、「学ぶ」ということの大切さを実感しました。現在日本では、高校進学率がほぼ100パーセントに近いと聞きます。インド国内でも今、IT関連企業が多くあることから、勉強の充実度が伺えます。

しかし一方、生活環境や世情は日本と比べるとまだ発展段階にあります。生活のため、物乞いをする子どもたちもいれば、土産品を売る子どもたちもいます。そんな子どもたちも笑った顔を見せないわけではありません。一緒に写真を撮ってくれた少年がいますが彼は始終笑顔でした。お礼にチップを渡すと、「良いの?ありがとう!」と言わんばかりの笑顔で返してくれました。今、日本では宗教離れが進んでいるなど、宗教と人々の関係性が薄れているとされています。また、インターネット(SNSなど)による直接対面しない関係性が増える中、人々は感謝の気持ちが薄れてきているように思えます。しかし、いずれ様々な出来事(生老病死)や絶縁曲折を経て人々にとってこころのよりどころになるのは宗教といったものであると思います。今回の巡礼ではそれを深く痛感されました。



期 一 会

Ryujun Sasano



私が高野山に登り、勉強させていただいた今年で9年になります。この9年の間にたくさんの人との出会いがありました。何も知らない私に指導して下された先輩方や苦楽を共にした友人や後輩、仲間たちなど、その出会いは数えるときりがありません。私は、このような「人との出会い」によって、たくさんのことを学ばせてもらい、さらに成長させてもらいました。

この「出会い」についてふとを考えると「一期一会」という言葉が頭に浮かびます。一期一会とは、人と人との出会いを大切にするという意味です。また、元々は茶道に由来し、茶会の際に、同じ茶会でも、今この時の茶会は一生で一度きりしかない、よって誠心誠意を尽くす心構えをしなさい、という戒めの言葉であるようです。

ここで、「一期一会」とは、大きくわけて二つの解釈をすることができると思います。まず一つ目は、初めて出会う人の出会いを大切にするということです。そして二つ目は、茶道の茶会のときのように、たとえ毎日顔をあわせる人でも、その都度、その出会いを大切にするということです。

初めて出会う人の「出会い」は、もちろん大切にしなければなりません。しかし私は、すでに出会ったことのある人に会う時こそ、初めて出会った時以上に、その出会いを大切にしなければならないと思うのです。そうすることによって、毎日顔をあわせる人ほど大切にすることができます。

海外からの観光客と



ます。出会いを重ねていくことで、人をより大切に想うことができるのです。人を大切に想うことに限りはありません。どんな人に会おうと、それは最高の「出会い」になるのです。「一期一会」という言葉は、そんな人を大切に想うということを、そのまま表現した言葉だと思います。

高野山での9年間を振り返ると、今の私があるのは、まさしく人との「出会い」のおかげだと、身にしみて感じます。私は、今年から金剛峯寺に奉職させていただいております。そこには、またたくさんの「出会い」があると思います。一つ一つの「出会い」を「一期一会」という言葉をかみしめながら大切にし、日々精進していかたいと思います。



profile:
佐々野 隆潤 (ささの りゅうじゅん)
(昭和63年生 長崎県出身)
高野山大学大学院 文学研究科 修士課程 密教学専攻
平成27年3月修了
金剛峯寺に奉職



旧制高野山大学設立（旧校舎）時代～

高野山大学史#05

本学図書館課長心得 木下 浩良

1926年旧制高野山大学
旧校舎

これまでに紹介したように、本学は明治19年(1886)開校の古義大学林を以て創立とするが、その後の明治・大正期は京都専門学校(現在の種智院大学)との合併か、あるいは山下への移転かで問題が噴出して、常に存続か否かの危機の連続であった。それらの危機を救ったのが本学学生で、本学同窓会や本学当局はその活動を支えて、さらに物心両面から陰で支援したのが高野山内寺院・商家であった。

ただ、これではいつまでたっても根本的な問題解決にならないと、当時の高野派教学部長の和田性海師を中心とする本学当局が打ち出したのが、大学令に基づいた旧制大学への昇格で、結果、大正15年(1926)に国内で37番目の大学となった。本学は宗団からの独立を果たした。これにより、大学設置問題が宗派内での宗争の具になることは、避けられることになった。

しかし、本学は何とか旧制大学とはなったものの、施設など古義大学林時代のままで、校舎・講堂・学寮・図書室が

現在の金剛峯寺の奥殿付近にあった。これでは十分な教育が受けられないと立ち上がったのが本学学生で、学生大会を開き本学の山下への即時移転を決定したことは前号で述べた通りである。この学生運動は、本学当局に危機感を与えた。それは、ようやく高野・仁和寺・大覚寺の三派より成る古義真言宗が発足したばかりで、このままでは宗内の結束にヒビが入ることは明らかであった。

本学当局は、早期の大学の充実を学生に約束し、そのためには今後一切の移転問題を止めるように学生に厳命した。そして昭和4年(1929)5月に完成したのが現在の本学図書館で、その半年程後の同年11月に完成したのが旧校舎であった。それまでの、飲食店や商店が立ち並ぶ上の段の家々を現在の鳶谷に街ごと移転させた跡地にできた大学だった。

旧校舎の設計は、図書館の設計者でもあった関西近代

建築の父と称された京都帝国大学教授の武田五一博士、同じく京都帝大教授で古建築を専門とした天沼俊一(あまぬましゅんいち)博士のお二人による。施工は高野山の大彦組によって完成した。

図書館が鉄筋コンクリート造りの3階建てであったのに対して、校舎は木造であった。構造は2階建ての2棟建築物で、1階部分の左右両端にて両棟を繋いでいた。そのために、中央には中庭があった。正面玄関は南面に向かい、玄関から向かって右側が庶務・会計・教務の各課が入った事務所があり、その各課には窓口の小窓が一つか二つ廊下に面してあった。用があるときは、その小窓をコンコン叩くと「何ですか」と職員が窓を開けて対応された。学生課だけは、右端の校舎の2棟を繋ぐ位置にあった。旧制大学時代は、この学生課横の倉庫に軍事教練で使うライフル銃が納められていた。教授の控室は正面玄関より向かって左側の1階にあった。創建当時の教室数は11室であった。

この旧校舎が、実は“仮校舎”であったことを知る人は少ないのである。本学教授の堀内寛仁(かんにん)先生は、「小学校の時から鉄筋の校舎で育った私には大学の校舎は、誠に小さい木造2階建てで唖然とした。幼稚園かと見誤る程だった。昭和元年(1926)に金堂が焼失したため、お金がそちらに廻り、一時の仮校舎であるという事であったが、何のかんのと言いながら60年もの間我々の校舎であり続けた」と述懐されている。

旧校舎は現在の校舎が完成する昭和61年(1986)まで使用された。解体に際して、旧校舎の柱は細く、よくも60近くの風雪に耐えたものとは、工事関係者の談であった。よもや、半世紀以上もの“仮校舎”的な使用にならうとは誰も思いもしなかったであろう。それは、鬼籍におられる武田五一・天沼俊一の両博士も同様に思っておられるに違いない。

【最終講義】「最終講義を終えて」

去る1月14日、201号教室におきまして、私が本学で取り組んできました教育や研究などの一応の一つの区切りとして、在職37年間を振り返りつつ普段の講義とは違った最終講義をさせて頂きました。昭和52年4月に本学に奉職しましてから、はや37年間が経過しました。

この間、多くの諸先輩や同僚の皆さんに大変お世話になりました。心から御礼を申し上げます。家族のサポートもあって無事に勤め上げる事が

ができました。そして、なんとか与えられた最終講義の責めを果たすこともでき感無量です。

私は定年に達しましたので、早く自由の身になって余生を残された課題に取り組みたいという想いはあります。引き続き学長として本学でもう少しの間お世話になることになりました。どうぞ宜しくお願いします。

【最終講義】「真実の空海を求めて」

武内 孝善

はじめに、当日配布したレジュメの目次をあげ、つぎで全体の概要を記しておく。

はじめに

一、いま、ここに立っていることの縁(えにし)の不思議さと有難さ

1. 高野山大学・素晴らしい先生方との出逢い
2. 東京大学史料編纂所への内地留学
- 3.『定本弘法大師全集』編纂員としての十四年
4. 文化庁文化審議会専門委員(文化財分科会)
5. 総括

二、これまでに解明できた真実の空海

1. 真実の空海など、本当に解明できるのか。
2. 空海の伝記研究に専念することになった端緒
3. 「解明できた真実の空海」とは
4. 恵果阿闍梨との出逢い—謎につつまれた空海の前半生
5. 原点としての高野山

三、今後に残された課題

おわりに

さて、概要である。第一部では、本学で三十六年間、曲がりなりにも大学の教員として研究と教育をつづけることができたのは、素晴らしい先生方と出逢わせていただいた縁の不思議さであった。本学では、真実の空海を求める端緒を開いてくださった松長有慶先生、初步から歴史学を手ほどきくださった和多秀乗先生、空海伝の問題点をお示しくださった高木諲元・岡村圭真先生。東大史料では、激務である所長であられながら指導教官になってくださった菊地勇次郎先生、何かとご配意くださった皆川完一先生、講義の聴講をお許しくださった土田直鎮・笹山晴生先生などにご教導たまわった。『定本全集』の編纂と文化庁では、貴重な古典籍に出会わせていただいた。総括では、①学問の世界は広い、②若い人は、ちっぽけな世界で威張っていてはダメ。日本だけでなく、全世界を視野にいれて活躍していただきたい、と申しあげた。

第二部の主題は、①いま、なぜ「真実の空海」なのか、②徹底した史料批判をおこなった結果、いかなる新しい空海像を見いだしましたか、である。特に、開創一二〇〇年という記念すべき年頭にあたり、空海の造像活動ならびに思想を考えるうえから、高野山講堂(現金堂)に安置された七体の尊像の解明、なかでも中尊がいかなる仏であったかを明確にしておくことの意義を申しあげた。講堂の中尊は、阿閦如来であった。

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院など)さまへの本学教員の講師派遣は、大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

1. ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマを、本学総務課へご連絡ください。
・お電話 0736-56-2921
・FAX 0736-56-2746
・HP <http://www.koyasan-u.ac.jp/info/dispatch>
2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。
3. 「講師派遣依頼書」を提出してください。HP掲載の様式をお使いください。

【注意事項】

1. 講演料(手取り額)
60分 ¥20,000 90分 ¥30,000
※講演料のみを講師に直接手渡してください。
2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します。(「高野山大学旅費規程」による)
3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
4. 大学を経由せずに、直接講師へ依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。

これは、現在取り組んでいる、高野山靈宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は、
○大学の設備・備品費などの諸経費
○地域との連携事業の経費
○学習・就職支援室の活動費
などに用いさせていただく予定であります。

高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、“魅力ある学校づくり”をキーワードに、これからも様々な教育改革に取り組んでまいります。皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

この趣旨にご賛同いただける方は、お手数をお掛けいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。ご連絡をいただきました方には、大学から、

- 寄付申込書
 - 寄付金用振替用紙
 - 返信用封筒
- をお送りさせていただきます。なお、寄付金は、一口二千円以上とさせていただいております。
- 皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用ください。

大学院臨床宗教教養講座募集開始!

ここからだ・いのち・たましいが遭遇する
現代的課題としっかり向き合えるように、
最先端の理論に基づいた
実践的な知恵とスキルを身につけます

募集人員 **40名**

履修期間 **1年(平成27年9月1日~翌年7月末日修了)**
在籍期限は**4年間まで**

出願資格 **本学大学院通信教育課程正科生在籍者、
本学大学院修士課程修了者(通信生含む)
他大学大学院修了者、大学卒業者**

本コースの学びの特徴

- ①「布教を目的としない公共空間での心のケア」を学びます。
- ②宗教的な視点とともに科学的な視点からも心のケアを学びます。
- ③人生の中のあらゆるステージの、あらゆる場面で必要とされる心のケアのスキルを取得します。
- ④実践経験豊富な第一線で活躍する教員により、最先端で実践的な講義を提供します。
- ⑤本講座において必要な領域を履修することで、認定資格「臨床宗教教師」「スピリチュアルケア師」が取得できます。(申請中)
- ⑥原則として週3日の集中講義、集中実習で講義を進めます。

募集の流れ・スケジュール

出願期間	平成27年6月29日(月)~平成27年7月17日(金)	手續期間	平成27年8月3日(月) ~8月19日(水)
選考・発表	【書類選考結果通知】平成27年7月23日(木) 【面接日】平成27年7月30日(木)・31日(金)	開講式 オリエンテーション	平成27年8月28日(金)
	【面接選考結果通知】平成27年8月3日(月)		

出願書類・受験料

- ①願書
- ②履歴書
- ③志望動機書
- ④卒業証明書(既得者)
- ⑤写真(顔写真添付)
- ⑥健康診断証明書

受験料
無料

※願書・志望動機書はホームページよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ

高野山大学大学院 教養講座受講受付係
TEL:0736-56-5027
URL: <http://www.koyasan-u.ac.jp>

受講料
無料

臨床宗教教養講座開講記念講演

「臨床宗教」の新地平 -スピリチュアルケアの最前線における宗教家の役割-

ご挨拶

高野山大学学長 藤田 光寛

ハリウッド大学院大学学長 山中 祥弘

講演会

高野山大学客員教授 大下 大圓

座談会

「前向きに生きるために」
講演者によるトークを予定

日 時

平成27年7月25日(土) 13時~16時

お問い合わせ

高野山大学 東京事務所
TEL: 050-3772-5612

場 所

六本木ヒルズ ハリウッドプラザ 5F ハリウッド大学院ホール

申し込み方法

ホームページにて入力申し込み → URL: <https://goo.gl/KFrUzU>

第3回「弘法大師の足跡を訪ねよう」

本年は、愛媛県の諸寺院を参拝します。卒業生保護者の方も参加できます。

●日 程

平成27年10月17日(土)~18日(日)1泊2日

●参加費
1人 17,000円(宿泊費・食費含む)

●参拝地
愛媛県

●持参物

半袈裟(大学)・経本・念珠・筆記具・着替え(動き易い服装や靴)等
※笈摺(「南無大師遍照金剛」の白衣)着用

初 日

6:00 高野山大学 発 14:30 千人宿大師堂
8:00 北野田駅 発 15:30 岩屋寺 着
バスの中で昼食(弁当) 17:00 岩屋寺 発
13:30 十夜ヶ橋 着 発
14:00 十夜ヶ橋 発

二日目

7:45 道後温泉 発(昼食)
8:00 石手寺 着
8:30 石手寺 発
9:30 荘福寺 着
11:30 石鎚山ロープウェイ 着
12:30 成就社 着

●募集締切 平成27年8月31日(月)

[受付・問い合わせ]
高野山大学 学務課 学生サポート係 TEL:0736-56-5028

高野山開創1200年記念

高野山大学・種智院大学合同慶讚法会 勤修

高野山開創1200年記念大法会に際し、高野山大学と種智院大学が初めて合同で法会を營みました。

高野山大学関係 出仕者(配役)

松長 有慶(本導師) 元学長・名誉教授	佐竹 弘應 密教学科4回生
佐藤 隆彦(協導師) 学長室長・教授	重藤 隆嵩 密教学科4回生
乾 龍仁(唄師) 副学長・教授	鈴木 崇公 密教学科4回生
ドライライン 豊淨 准教授	小川 韶圓 密教学科3回生
松長 潤慶 准教授	梶川 淳範 密教学科3回生
森崎 雅宝 助教	長瀬 勇生 密教学科3回生
飛鷹 全法 総務課長心得	佐竹 弘全(伴僧) 密教学科3回生
笠原 弘俊(讚頭) 密教学科4回生	立花 昌樹(承仕) 密教学科3回生
生田 賢勇(経頭) 密教学科3回生	越智 大和(承仕) 聴講生
東條 哲雄 修士課程2回生	後藤 雅則(執蓋) 学務課長
小林 拓夢 修士課程2回生	中原 慶良(故実者) 非常勤講師
一宮 浩真 密教学科4回生	細川 敬真(故実者) 学務課員

(敬称略)



高野山開創1200年記念 高野山学園音楽法会 勤修

高野山開創1200年記念大法会において、高野山大学と高野山高等学校が音楽法会を營みました。

平成27年5月16日、午後2時から、伽藍金堂に於いて、高野山高等学校同窓会会长・中西隆英師導師のもと、両学の教職員・学生(生徒)・卒業生の職衆30口が出仕し、勤修しました。

大会堂に集会し、一行進列、中門前に至ると、弘法大師入唐求法和讃・宗教舞踊が行われ、高野四郎の大梵鐘の莊厳な音とともにに入堂しました。

両学の教職員、学生(生徒)、随喜衆、保護者、一般参拝者、約500名が参列する中、三帰依文を唱えながら三礼し、献灯、献花、散華の供養が行われ、前讃・般若心経終って、高校生徒会会长が誓願文を奉読し、後讃、廻向の後、一同で大学校歌、高校校歌、宗歌いろは歌を齊唱し、祖山莊嚴・宗教舞踊が奉納されました。



高野山大学関係 出仕者(配役)

中西 隆英(導師) 卒業生	川染 龍哉 修士課程2回生	鈴木 崇公 密教学科4回生	立花 昌樹 密教学科3回生
中谷 聖博 卒業生	岡 真永 密教学科4回生	野々山 義晃 密教学科4回生	天尾 嘉秀 密教学科1回生
眞田 龍憲 卒業生	國本 雅人 密教学科4回生	小川 韶圓 密教学科3回生	辻 秀道(詠歌) 非常勤講師
細川 敬真 学務課員	佐竹 弘應 密教学科4回生	佐竹 弘全 密教学科3回生	辻 佐智子(舞踏) 非常勤講師
小林 拓夢 修士課程2回生	島田 明絢 密教学科4回生	高木 雄規 密教学科3回生	渡辺 麗美 卒業生

(敬称略)



平成28年度 入学試験日程

文学部<入試日程>

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表	会場
AO入試	平成27年9月1日(火)～9月15日(火) 消印有効 ※事前にエントリーが必要です。	9月26日(土)	10月2日(金)	本学
併設校推薦入試	平成27年10月13日(火)～10月28日(水) 必着	11月7日(土)	11月13日(金)	本学
指定校制推薦入試	平成27年10月13日(火)～10月28日(水) 消印有効	11月7日(土)	11月13日(金)	本学
公募制推薦入試 寺院後継者推薦制度含む 高卒認定合格者推薦制度含む	平成27年11月4日(水)～11月20日(金) 消印有効	11月28日(土)	12月4日(金)	本学
一般入学試験(前期)	平成28年1月7日(木)～1月27日(水) 消印有効	2月5日(金)	2月12日(金)	本学・東京・大阪
一般入学試験(後期)	平成28年2月15日(月)～3月2日(水) 消印有効 窓口受付は3月8日(土日除く)午後4時まで	3月9日(水)	3月11日(金)	本学
寺院後継者特別入試	平成27年10月13日(火)～10月28日(水) 消印有効	11月7日(土)	11月13日(金)	本学
特定入試(書道)	平成27年10月13日(火)～10月28日(水) 消印有効	11月7日(土)	11月13日(金)	本学

※東京会場…アルカディア市ヶ谷(私学会館) 大阪会場…大阪大学中之島センター(高野山大学 大阪サテライトキャンパス)

注)合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00～15:00)

編入学<入試日程>

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表	会場
三年編入学試験(前期)/ 社会人編入学試験(前期)	平成27年11月4日(水)～11月20日(金) 消印有効	11月28日(土)	12月4日(金)	本学
三年編入学試験(後期)/ 社会人編入学試験(後期)	平成28年2月15日(月)～3月2日(水) 消印有効 窓口受付は3月8日(土日除く)午後4時まで	3月9日(水)	3月11日(金)	本学

注)合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00～15:00)

別科<入試日程>

試験種別	願書受付期間	面接日	合格発表	会場
別科入試一次募集 密教専修コース	平成27年11月4日(水)～11月20日(金) 消印有効	11月28日(土)	12月4日(金)	本学
別科入試二次募集 密教専修コース	平成28年2月15日(月)～3月2日(水) 消印有効 窓口受付は3月8日(土日除く)午後4時まで	3月9日(水)	3月11日(金)	本学
別科入試一次募集 スピリチュアルケアコース	平成27年11月4日(水)～11月20日(金) 消印有効	11月29日(日)	12月4日(金)	大阪
別科入試二次募集 スピリチュアルケアコース	平成28年2月1日(月)～2月19日(金) 消印有効	2月28日(日)	3月4日(金)	大阪

※大阪会場…大阪大学中之島センター(高野山大学 大阪サテライトキャンパス)

注)合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00～15:00)

個別の入学資格審査<入試日程>

試験種別	願書受付期間	試験日	審査通知日
個別の資格審査	平成27年11月4日(水)～11月20日(金) 必着	11月28日(土)	12月4日(金)

大学院(文学研究科)

課程	出願期間	試験日	合格発表
前期 修士課程 博士後期課程	平成27年9月1日(火)～9月15日(火) 消印有効	9月26日(土)	10月2日(金)
後期 修士課程 博士後期課程	平成28年2月8日(月)～2月19日(金) 消印有効	2月27日(土)	3月4日(金)

注)合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00～15:00)

大学院(修士課程密教学專攻通信教育課程)

試験種別	一次選考 書類提出期間	一次選考 合格発表日	二次選考日 (面接)	二次選考 合格発表
前期入試	平成27年7月21日(火)～7月31日(金) 消印有効	8月28日(金)	9月26日(土)	10月2日(金)
後期入試	平成28年1月6日(水)～1月25日(月) 消印有効	2月8日(月)	2月20日(土)	2月24日(水)

※二次選考は一次選考合格者を対象とします。

●お問合せ URL. <http://www.koyasan-u.ac.jp> E-mail. nyushi@koyasan-u.ac.jp

AO入試エントリー受付中!!

特集 高野山大学文学部 「人間学科」スタート!!

Department of Humanistic Anthropology

困難な時代を
生き抜く人間力を育む!!



哲学、歴史学、文学、社会学、心理学の5分野を中心に学びます。

学びを通じて、複雑な社会で生き抜くために必要な問題解決能力を高め、総合的な「人間力」を養います。

本物に触れて育つ人間力



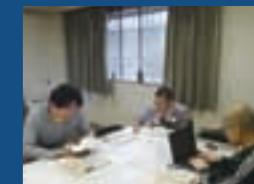
学びのポイント



1 知識や思考法を学ぶ



2 調査能力や問題解決能力の育成



3 表現能力を向上させる

強くなれる。人間を知ると、

哲學・歴史学・文学・社会学・心理学の5つの領域の多面的なアプローチから人間や社会について考えます。講義で提示される課題を、自分に分かる言葉に直し、さらに考えてみましょう。その先に、人間の多面性や複雑性が見えてくるはずです。講義を通して、知識が得られるとともに、理解することや、考えるということも実感できるはずです。

ゼミは4年間必修で、自分の調べたことを発表し、ゼミ仲間と意見を交換します。ゼミの発表は、講義で学んだ知識や自分で調べた情報と、自分が考えた意見を基礎にします。他の人に分かるように、発表の工夫をしたり、教員や仲間からの意見を聞くことを通じて、より広く、深い智恵になるはずです。ゼミは総合的な学びの場です。意欲的な学習をサポートするために、ポートフォリオ(学習記録)やLMS(ラーニング・マネージメント・システム)を導入しています。